

設 計 図 書

(起工)

起 工 番 号 7壱教第170号

件 名 令和8年度
教育用ソフトウェアライセンス

使 用 場 所 壱岐市内

長崎県壱岐市

教育用ソフトウェアライセンス仕様書

- 1 件 名 令和8年度 教育用ソフトウェアライセンス
- 2 契約内容 小学校および中学校のタブレット端末で、教育用ソフトウェアを利用した学習を行うためのライセンスおよび環境設定（保守管理含む）
- 3 機能要件 ベネッセミライシード フルパッケージ版（別紙のとおり）
- 4 使用期間 令和8年4月1日から令和9年3月31日まで
- 5 使用場所

名 称	住 所	児童生徒数
盈科小学校	壱岐市郷ノ浦町本村触 589 番地	235
渡良小学校	壱岐市郷ノ浦町渡良南触 365 番地	52
三島小学校	壱岐市郷ノ浦町大島 815 番地	2
柳田小学校	壱岐市郷ノ浦町柳田触 885 番地	41
沼津小学校	壱岐市郷ノ浦町小牧東触 184 番地	41
志原小学校	壱岐市郷ノ浦町大原触 115 番地	35
初山小学校	壱岐市郷ノ浦町初山西触 807 番地 1	38
鯨伏小学校	壱岐市勝本町立石南触 1137 番地 2	56
勝本小学校	壱岐市勝本町坂本触 262 番地	60
霞翠小学校	壱岐市勝本町西戸触 550 番地	63
箱崎小学校	壱岐市芦辺町箱崎釘ノ尾触 652 番地 1	52
瀬戸小学校	壱岐市芦辺町箱崎大左右触 315 番地	70
那賀小学校	壱岐市芦辺町中野郷西触 174 番地	79
田河小学校	壱岐市芦辺町諸吉二亦触 1659 番地	80
八幡小学校	壱岐市芦辺町諸吉南触 1565 番地	32
芦辺小学校	壱岐市芦辺町芦辺浦 546 番地	39
石田小学校	壱岐市石田町石田西触 1238 番地	149
筒城小学校	壱岐市石田町筒城西触 191 番地	34
郷ノ浦中学校	壱岐市郷ノ浦町本村触 75 番地	251
勝本中学校	壱岐市勝本町仲触 1846 番地	130
芦辺中学校	壱岐市芦辺町中野郷西触 400 番地 1	165
石田中学校	壱岐市石田町石田西触 1547 番地	115

- 6 支払方法 使用料は、使用期間終了後に一括して支払うものとする。

7 その他

- (1) 本契約に基づくライセンス料は、契約時における児童生徒数（令和8年度推計）を基に算出された金額とし、使用期間中、児童生徒数に増減があった場合においても、ライセンス数の変更に伴う金額調整は行わないものとする。ただし、特別な事情等が発生した場合については、発注者と受注者双方で協議の上、必要な調整を行い、契約条件の変更を行うことができるものとする。
- (2) 本仕様書に記載のない事項についても、技術上または機能上必要と認められるものについては、これを省略せず必要なものは費用に含めること。
- (3) 受注者は、本契約の履行において知り得た全ての情報について厳重に管理を行い、みだりに他人に知らせる事なく、他の目的に使用してはならない。
- (4) 本契約の履行にあたっては、必要な技術的助言を行うとともに、業務実施に際して疑義が生じる可能性がある場合には、事前に協議を行い、円滑な業務遂行を行うこと。

ベネッセミライシード

■ 共通

- (1) 協働学習・一斉学習に対応した「ツール」、個別学習に対応した「ドリル教材」、協働学習・一斉学習・個別学習それぞれの学習場面で活用できる「授業支援アプリ」を保有すること。
- (2) 「ツール」、「ドリル」、「授業支援アプリ」に収録されている教材は文部科学省学習指導要領に準拠し、本市が採用する教科書に対応していること。

■ 「ツール」基本機能

- (1) 「ツール」収録教材は、小学校版で1～6年生の国・算・理・社（理社は3年生以上）の教科書単元に対応し、本市が採用する教科書内容に沿って検索ができること。中学校版は1～3年生の国・数・理・社・英の教科書単元に対応し、本市が採用する教科書内容に沿って検索できること。
- (2) 協働学習・一斉学習に対応した「ツール」では、児童生徒個人の思考検討のエリア及び参加するグループメンバー内で共有するエリアの2エリアを保有すること。
- (3) 協働学習「ツール」では、児童生徒たちが共有するエリアにオブジェクトを配置できること、かつ移動するオブジェクトの更新状況をリアルタイムにメンバー全員が把握することができること。
- (4) 協働学習・一斉学習に対応した「ツール」では、ユーザーがグループ共有のエリアに配置されたオブジェクトに対して、相互に評価コメントを入力することができること。
- (5) 協働学習・一斉学習に対応した「ツール」では、ユーザーがグループ共有のエリアに配置されたオブジェクトに対して、発表を目的としたプレゼンテーション機能を有することができること。
- (6) 協働学習・一斉学習に対応した「ツール」では、ユーザーがグループ共有のエリアに配置されたオブジェクトに対して、出席番号順、共有エリアに配置した順に自動で並べ替えを行うことができること。
- (7) 協働学習・一斉学習に対応した「ツール」では、グループ共有のエリアに配置されたオブジェクトに対して、キーワード集計、スタンプ集計、マーキング集計、選択肢集計等の教員の指導に必要な情報を還元できる仕組みを有すること。
- (8) 協働学習・一斉学習に対応した「ツール」では、教員が任意に自作の教材を作成することができること。
- (9) 協働学習・一斉学習に対応した「ツール」では、取り組んだ教材の履歴を閲覧することができること。
- (10) 協働学習・一斉学習に対応した「ツール」では、一人一台タブレット PC を活用する場合、複数人で一台タブレット PC を活用する場合の両場面を想定したモードを有すること。
- (11) 教員のための、「ツール」の活用方法を説明するサイトを有すること。

(12) 教員は、過去に作成したカードを他の教員に対して共有することができること。

■「ドリル教材」基本機能

- (1) 「ドリル」に収録されている教材は、小学校版で1～6年生の国・算・理・社の教科書単元に対応し、本市が採用する教科書内容に沿って検索ができること。中学校版は1～3年生の国・数・理・社・英の教科書単元に対応し、本市が採用する教科書内容に沿って検索できること。また、児童生徒は当該学年以外の内容も検索できること。
- (2) 「ドリル」に収録されている教材は、小学校・中学校合わせて35,000問以上の問題を収録していること。
- (3) 「ドリル」に収録されている教材は、基礎基本力の習得をねらいとした「ドリル」、思考・判断・表現の力の習得をねらいとした「ドリル」の2タイプを収録すること。
- (4) 「ドリル」では、ユーザーが解答した内容に対して自動採点を行うことができること。
- (5) 「ドリル」では、まちがえた問題だけを再度取り組める機能を有すること。また、取り組み途中で中断しても、続きから始めることができる機能を有すること。
- (6) 「ドリル」内に収録する漢字問題では手書き認識エンジンを搭載し、ユーザーの字形や筆順に対して自動フィードバックを行うこと。
- (7) 「ドリル」では、選択肢(単答)、選択肢(複答)、並べ替え、分類、数値入力等の回答パターンを有し、問題特性に応じた回答パターンを表示すること。
- (8) 「ドリル」では、ユーザーの解答状況に応じてメダルやコイン等の報酬付与によるモチベーションを向上させる仕掛けを有すること。
- (9) 「ドリル」では、教員が、児童生徒の取り組む状況をリアルタイムに把握でき、机間指導等に生かすことができる仕組みを有すること。
- (10) 「ドリル」では、児童生徒の学習成果物(取り組んだ問題、取り組んだ数、取り組んだ時間、正答率など)は、児童生徒別の学習成果物確認画面に一元的に整理され、普段の指導や学期を通じた評価等に活用することができること。
- (11) 教員は、児童生徒の学習成果物を CSV ファイルとして書き出し、評価等に活用することができること。
- (12) 「ドリル」では、教員が、児童生徒に対してコメントを配信できる機能があること。
- (13) 小4～小6の算数・中1～中3の数学の「ドリル」では、問題に不正解した際、不正解した問題が解けるようになるための、児童生徒の習熟度に合わせたフォロー問題を出題すること。
- (14) 小4～小6の算数・中1～中3の数学の「ドリル」では、問題に不正解した際、フォロー問題のあと、類題が出題されること。
- (15) 下記に該当する「ドリル」では、段階的な知識定着を促すため、学習の流れに合わせた問題構成で出題するとともに、児童生徒の習熟度に合わせた適切なタイミングで学習内容の解説を表示すること。

小1～中3の国語、小3～中3の理科、小3～小6の社会、

中1～中3の社会地理、中1～中3の社会歴史、中3の公民

(16) 下記に該当する「ドリル」では、児童生徒が決めた目標に対し、取り組み結果を鑑みて、目標の達成度の確認、未達の場合には目標を達成する場合のアドバイスを行うこと。

小1～中3の国語、小4～小6の算数、小3～中3の理科、小3～小6の社会、
中1～中3の数学、中1～中3の社会地理、中1～中3の社会歴史、中3の公民

(17) 下記に該当する「ドリル」では、児童生徒の学習履歴に応じて自動で問題を生成すること。

小1～中3の国語、小4～小6の算数、小3～中3の理科、小3～小6の社会
中1～中3の数学、中1～中3の社会地理、中1～中3の社会歴史、中3の公民

(18) 教員が、任意の問題を選択し、課題として配信する仕組みを有すること。このとき、クラス内に一斉、もしくは個人別に配信を行うことができること。

(19) 教員自身で、問題を登録できる仕組みがあること。

■「授業支援アプリ」基本機能(ブラウザ版)

(1) 授業支援アプリでは、児童生徒個人が思考検討するエリアを保有し、エリア上に各種カードの配置やペン描画を行うことができること。

(2) エリア上に配置するカードの種類としてテキスト、ペイント、図形、画像、音声、動画、Microsoft 社製 Office データ (パワーポイント、ワード、エクセル)、Apple 社製 iWork スイート (キーノート、ページズ、ナンバーズ) 等を挿入することができること。

(3) 教員が教材作成・配布に利用したエリアには、どの授業で利用したかをタグづけする機能がついていること。またそのタグの種類は利用した授業の学年、組、日付、時限、単元名を含むこと。過去の授業で利用したエリアを検索する際に、このタグで検索対象を絞り込むことができること。

(4) 単元名をタグづけするときには、小学校版で1～6年生の国・算・理・社(理社は3年生以上)の教科書単元に対応し、本市が採用する教科書内容に沿ってタグづけができること。中学校版は1～3年生の国・数・理・社・英の教科書単元に対応し、本市が採用する教科書内容に沿ってタグづけができること。

(5) エリア上で児童生徒個人が思考検討し作成したカードの情報は、同じ授業で教員が教材作成・配布に利用したエリアと関連付けされること。

(6) 使用する教材の名称を登録する際、文部科学省学習指導要領に準拠し、本市が採用する教科書に対応した学習単元名をプルダウンのメニューから選択できること。

(7) エリアで作成したカード同士をつなぎ合わせ、プレゼンテーションを行うことができる機能を有すること。

(8) エリアで作成したカードを学級内の他の児童生徒に送信したり、教員に対して提出したりすることができること。

(9) アプリ内で Web サイトの閲覧を可能とし、必要に応じて Web サイト画面のスクリーンショットを挿入することができること。

(10) 教員は、児童生徒が提出したカードを一覧で表示し、必要に応じて拡大表示を行うことができること。

- (11) 教員は、児童生徒が提出したカードを拡大表示する画面に対してペン描画を行うことができること。
- (12) 教員は、児童生徒が提出したカードに対してスタンプの付与を行うことができること。
- (13) 教員は、児童生徒の成果物に評価付けができること。
- (14) 教員は、過去に作成したカードを他の教員に対して共有することができること。
- (15) 教員のための「授業支援アプリ」の活用方法を説明するサイトを有すること。

■その他機能

- (1) 提供される教材の活用ログデータを収集できる仕組みがあること。
- (2) カルテを契約している場合、児童生徒の学習成果物は児童生徒別・クラス別のカルテに一元的に整理され、学期を通じた評価等に活用することができること。
- (3) 教科書改訂に際しては、教科書単元データ更新について、リース期間内は無償バージョンアップ対応を行うこと。
- (4) リース期間内に採択教科書変更、指導要領改訂が行われた場合でも、最適な教材が使えるよう更新を無償で行うこと。また、その仕組みを持つこと。